

～初歩き 春待つ冬芽を訪ねよう～

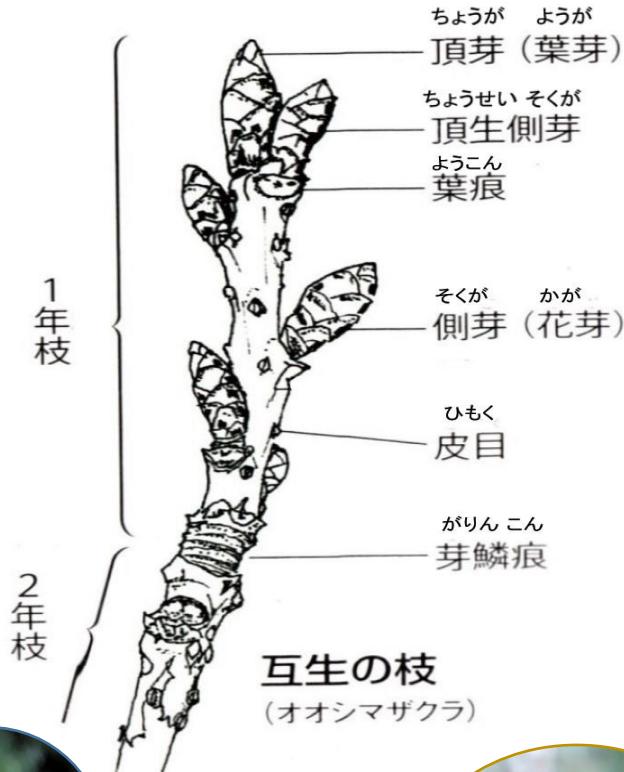
きょうは冬芽を探して歩こう。
『お気に入り』が見つかったら、
春も夏も、秋まで追いかけよう！

冬芽と言えば…



冬芽とは・・・前年の花や葉が落ちた後、
次に展開する花芽や葉芽。
冬季に成熟し目立つこと
から「冬芽」と呼ばれる。

冬芽拡大



芽鱗を脱いで
変身中！
リョウブ



隠芽



相牛山の四季を歩く会 #185
2025.1.12



芽鱗に守られた バラ科の仲間



下見(1/6、8、10)で出会った冬芽たちから36種

今月の資料は
「冬芽ハンドブック」文一総合出版
「樹に咲く花」山と渓谷社などを参考に作成。

エリア	No	標準和名	漢字表記	科	冬芽	メモ
樹林入口	1	ハリエンジュ	針槐	マメ	隠	別名:ニセアカシア
林縁	2	シャリンバイ	車輪梅	バラ	常緑*鱗	
	3	ムラサキシキブ	紫式部	シソ	裸	対生、葉痕:呼び鈴
	4	サカキ	榦	サカキ	常緑*裸	鉤状に曲がる
	5	ヒサカキ	姫榦	サカキ	常緑*裸	鉤状に曲がる
	6	アズキナシ	小豆梨	バラ	鱗	短枝、秤の目
	7	タカノツメ	鷹の爪	ウコギ	鱗	名の由来
梅畠 先駆	8	ヌルデ	白膠木	ウルシ	鱗	葉痕内
	9	アカメガシワ	赤芽柏	トウダイグサ	裸	葉脈のシワが見える
	10	クサギ	臭木	シソ	裸	葉痕:馬蹄形
	11	エノキ	榎	アサ	鱗	
	12	フジ	藤	マメ	鱗	マント群落
二次林	13	コナラ	小檜	ブナ	鱗	頂生側芽
(雑木林)	14	アベマキ	栴	ブナ	鱗	頂生側芽
	15	ヤマザクラ	山桜	バラ	鱗	先端ほどける、短枝
	16	アラカシ	粗櫻	ブナ	常緑*鱗	頂生側芽
	17	アオハダ	青肌	モチノキ	鱗	短枝
	18	カナメモチ	要鶴	バラ	常緑*鱗	

常緑の
冬芽たち

シャリンバイ



ヒサカキ



シャシャンボ

名古屋市は相生山の道路計画の「折衷案」提示に続いて、緑地基本計画=ビジョン案を公表しました。その一部を次ページに載せます。

緑地内の住民や、農地で生産している地元の人びとともに、「計画検討会議」に参加してきましたが、置いてきぼりで進められた感じがしています。

市議会の土木交通委員会では「これまで関わってきた市民団体の意見をよく聞くように」「相生山のことを一番よく分かっている人たちの声が尊重されるべき」という発言がありました。2月中旬に「検討会議」参加者を対象に説明会が開かれます。みんなの思いを反映させたいです。ご意見お寄せください。

2月の第2日曜は立春過ぎた9日
～育った冬芽に春を見よう～
久しぶりに復活！冬芽コンテスト

連絡先（古川）

tell/fax : 052-821-6463

ケイタイ : 080-5124-6463

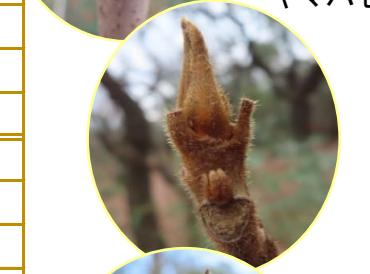
e-mail : viva_forest@yahoo.co.jp

<https://lovelyearth.info/>

モチツツジ



ヤマウルシ



ヤマハゼ



ハゼノキ

これまでの検討結果を活かし、現状の土地利用や地形をふまえた保全と利用のバランスを考慮し、基本計画（案）を作成しました。

基本計画（案）は、基本理念と3つの基本方針で構成しています。ご覧いただきご意見をお聞かせください。

■ 基本理念は「自然と人が共生する相生山緑地」です。

基本理念



名古屋市「案」copy

■ 1つ目の基本方針は「つなぐ」です。

基本方針1 つなぐ

地域とつながり、人々が交流できるよう利活用をはかっていきます

現状の土地利用や地形

- ・一定の開発がされている区域
- ・道路（高針大高線）沿いの宅地や農地

一定の開発がされている区域や道路（高針大高線）沿いの宅地や農地では各エリアの特性に応じた地域交流の拠点を設けます。

将来イメージ

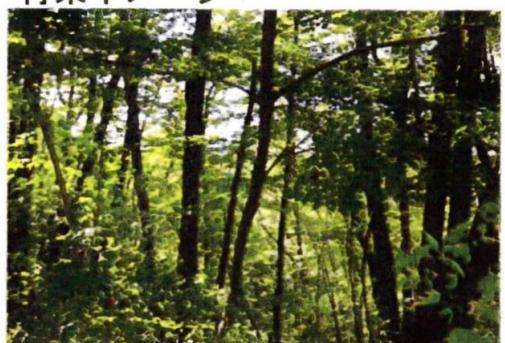


■ 2つ目の基本方針は「まもる」です。

基本方針2 まもる

生物多様性の観点からも貴重となる樹林地などの自然環境を保全します

将来イメージ



現状の土地利用や地形

- ・比較的人の手が入っていない区域
- ・樹林地、斜面緑地

比較的人の手が入っていない樹林地や斜面緑地では樹林地や沢筋など次世代につなぐべき大事な自然環境を守ります。

■ 3つ目の基本方針は「ふれあう」です。

基本方針3 ふれあう

自然とのふれあいを求めて訪れた人が、自然に学び、緑地を安全かつ快適に利用できるようにしていきます

将来イメージ

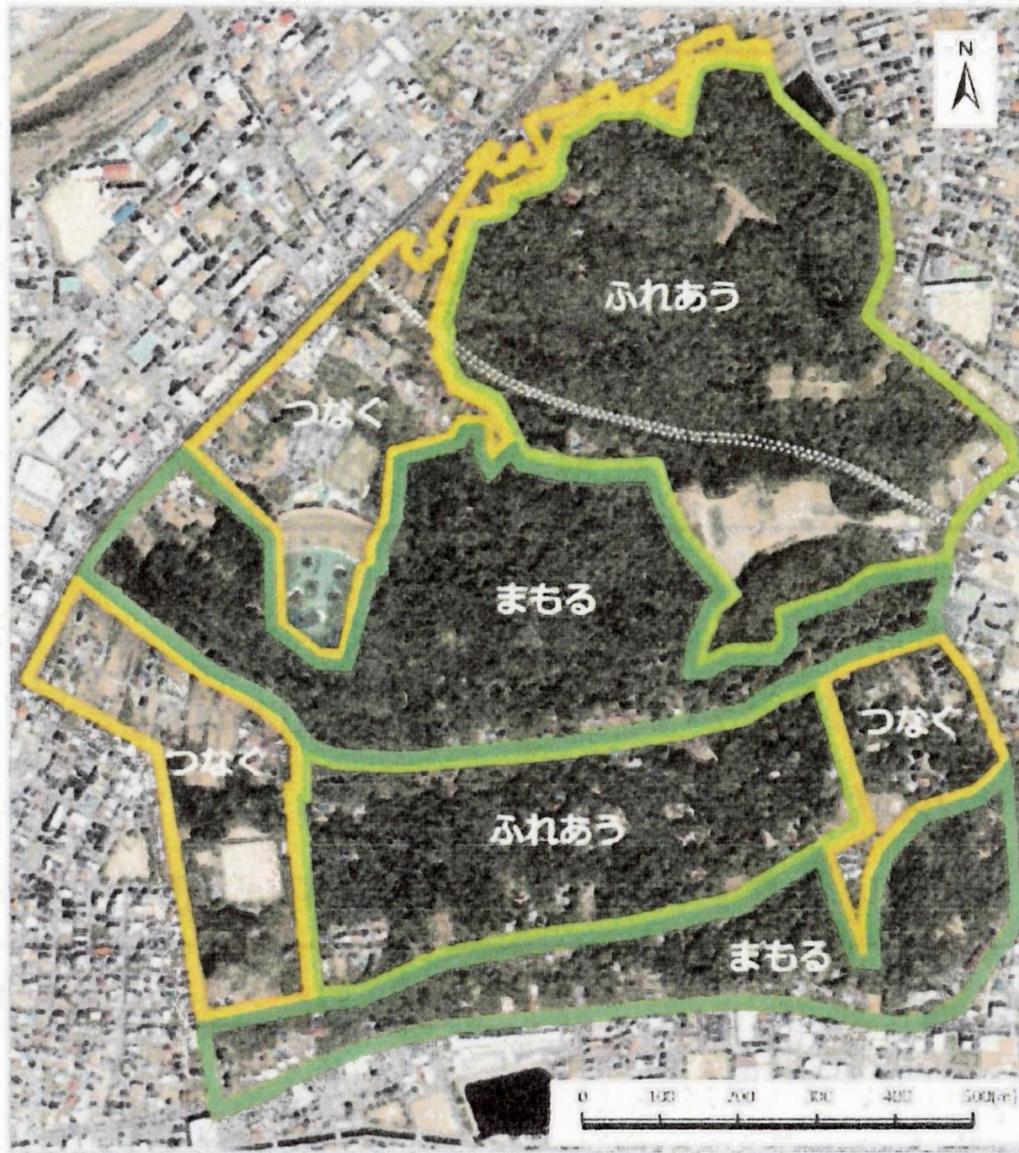


現状の土地利用や地形

- ・森づくり活動が行われている区域
- ・住宅が点在する区域
- ・樹林地、農地

森づくり活動が行われている樹林地や、農地、住宅が点在する区域では自然と親しめる良好な樹林地や農地を市民とともに育みます。

希少種を含む生きものたちが生育・生息する雑木林の核心部を「ふれあう」ゾーンとし、その中に河村前市長が2014年12月に「計画廃止」を表明した『道路』を残しています。



現況図

